

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	3-2-2		事業名	障がい者施設等に対する発注機会の拡大
担当	保健福祉局保健福祉部障がい福祉課就労・相談支援担当係 藤崎 TEL211-2936			
全 体 計 画				
事業内容	障がい者施設等で製作された製品や受注可能な役務サービス等の発注機会の拡大やPRを行うとともに、企業の障がい者雇用を促す取組を推進していく。		＜年度別の事業内容＞	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度 障がい者施設等で製作された製品や受注可能な役務サービス等の庁内PR</li> <li>・20～22年度 各年度で、障がい者施設等で製作された製品や受注可能な役務サービス等のPRを引き続き実施するとともに、市役所内で一定数量発注する仕組みを検討し、実施</li> </ul>	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	障がい者施設等で製作された製品や受注可能な役務サービス等の庁内PR		障がい者施設等で製作された製品や役務サービス等の庁内PRを進めた。	
事業内容・規模・件数等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	これまでの発注状況等に関する庁内への調査を行い、実情や課題を整理するなど発注促進につながる仕組みの検討を進める。		平成21年度に実施した発注状況等の庁内調査や、作業所等の事業実態把握アンケート調査等の結果を基にしながら、より発注促進につながる仕組みの検討を進める。また、さらに事業の周知を図るために、作業所等に対して、事業説明会や、現状、課題等の意見交換を行う研修会などを実施する。	

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-2-2		事業名	障がい者施設等に対する発注機会の拡大			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
市各部局での障がい者施設などに対する発注量	—	庁内PR	庁内PR	物件0.1% 役務0.1%	全発注量の 1.8%	全発注量の 1.8%	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
元気ショップをはじめとした取組により、障がいのある方が製作する製品などが認知され出している。			今後、民間に先立ちまずは市役所が率先し、障がい者施設等への発注機会を拡大していく必要があると考えている。そのためには、各部局への協力要請という形ではなく、一定数量の発注が確保されるような仕組みを確立していきたいと考えている。				
今後の事業の予定・方向							
まずは市役所が一定数量、障がい者施設に発注していく仕組みを確立し、民間企業等に広げていきたいと考えている。							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード	3-2-2		事業名	障がい者施設等に対する発注機会の拡大		
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	—	—	—	—	—
	財源内訳					
	国・道支出金					
	市の債					
予算	事業費	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市の債	0	0	0	0	0
実績	事業費	0	0	0	—	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0		0
	市の債	0	0	0		0
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				—
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)						
《全体》 計画との差異は特になし [19年度]  [20年度]  [21年度]  [22年度]						